

Divorcing Jack

BBC Films, Winchester Films and Scala present in association with The Arts Council of England and The Arts Council of Northern Ireland a Scala production in association with IMA Films and Le Studio Canal+ and Foundry Film Partners David Thewlis Rachel Griffiths Jason Isaacs "DIVORCING JACK" Laura Fraser Richard Gant Laine Megaw Bronagh Gallagher Kitty Aldridge and Robert Lindsay casting Ros & John Hubbard costume designer Pam Tait production designer Claire Kenny editor Nick Moore original music by Adrian Johnston director of photography James Welland co-producers Frank Mannion and Georges Benayoun co-executive producers Marina Getter Gary Smith Chris Craib executive producers Nik Powell Stephen Woolley David M. Thompson screenplay by Colin Bateman based on his novel producer Robert Cooper director David Caffrey © 1998 Scala (Divorcing Jack) Ltd / IMA Films / Le Studio Canal+

MOSAIC WINCHESTER FILMS BBC FILMS DC DOLBY DIGITAL

Stray Cat

New Yorker

Nightingale

Dan Starkey

Mr. Charisma

Enemy No.1

「セブン・イヤーズ・イン・チベット」「シャンドライの恋」デヴィッド・シューリス

これが北アイルランド流 "クライム・ムービー・ワンダーランド"

ディボースキング・ジャック

プロテスタントには "アルスター"
カトリックにとっては "北の6県"
イギリス政府には "例の地方"
君には? —— 故郷さ

北アイルランド ベルファスト

ビミョー エリア ミョー ワル ダイニングメッセージ ディボーシング・ジャック

微妙な地域に、妙な連中 最期の言葉は、「離・婚・す・る・?・ジャック」!

茶化しちゃいけないモノほど突つきたくなる、そんなヘソ曲がりのアナタに贈るコメディ・ミステリの大作。
"ピストルズ命" D・シューリスのダメ男ぶりはもとより、Hな英国風キューティ(つまり個性派)の揃い踏みも嬉しい限り。
尼さん最高! 乞うシリーズ化!! —— ミルクマン斉藤

コーエン兄弟を彷彿とさせる、才気あふれる面白さ! —— *Sight & Sound*

シリアスな状況をアナーキーに笑い飛ばせ!
新鋭アイリッシュ監督デヴィッド・キャプリーの手腕と
「通好み」の演技派デヴィッド・シューリスの魅力が全開。
イギリス・アイルランドのマスコミが絶賛した、タフな快作!



悲劇を笑い飛ばす快作 川本 三郎(評論家)

北アイルランドといえば、長年にわたってカトリック教徒とプロテスタントの抗争が絶えない世界有数の紛争地域である。イギリスからの北アイルランド独立をめぐる敵対する両派の闘争に巻き込まれ、普通の市民が犠牲になる。和平交渉はつねに難航する――。

その北アイルランドを舞台にした映画というからシリアスな社会派映画かと思っていたら、これが大違い。ブラックな笑いに満ちた犯罪映画の快作なのである。悲劇をタフに笑いのめしている。死と隣り合わせのなかで生きてゆくには笑いこそが必要なのだろう。

デヴィッド・シューリス演じる主人公がまさまったく英雄的ではないのが面白い。二流のジャーナリストを自認していて、正義を振りかざすかわりに辛辣に皮肉を飛ばす。飲んだくれて、奥さんがいるのに若い女性には目がない。そんなやつがいつのまにかトラブルに巻き込まれてゆく。IRA、ギャング、警察、あやしげな政治家。いたるところに埋められた"地雷"を踏んでしまう。ヒッチコック映画のサスペンスに、アイルランドならではの荒っぽいユーモアが加わり、最後まで一気に見せる。そしておおらかな哄笑の裏に、北アイルランドの悲劇的状況への深く静かな悲しみがあることに気づかされてゆく。

北アイルランドの紛争地帯で撮影されたはじめての映画だという。昨年秋の神戸100年映画祭の折りに来日した監督のデヴィッド・キャプリーは、こわもてではなく、いたすら好きの陽気な若者だったのも意外だった。

ディボーシング・ジャック

ファンタスポルト映画祭 批評家賞、最優秀脚本賞/イギリス・インディペンデント・フィルム・アワード 最優秀男優賞/ミネート/サン・セバスチャン映画祭 新人監督賞/ミネート
出演 | デヴィッド・シューリス/レイチェル・グリフィス/ジェイソン・アイザックス/ロバート・リンゼイ
ローラ・フレイザー/リチャード・ガント 監督 | デヴィッド・キャプリー 原作・脚本 | コリン・ペイト
マン 撮影 | ジェイムズ・ウィランド 編集 | ニック・ムーア 音楽 | エイドリアン・ジョンソン
1998年イギリス(北アイルランド)/BBCフィルムズ=ウィンチェスター・フィルムズ=スカラ提供
カラー/ヴィスタサイズ/1時間50分/ドルビー・デジタル 原作 | 東京創元社
協力 | 東京創元社/プランクton 提供・配給 | アット エンタテインメント

原作「ディボーシング・ジャック」について

南北アイルランドきっての人気作家コリン・ペイトマンが、ジャーナリストとしての経験をもとに書き起こした小説「ディボーシング・ジャック」は、ベティ・ラスク賞や、サン・フランシスコ・レビュー批評家賞を見事受賞。主人公のコラムニスト、D・スターキーには、多分に彼自身が投影されている。このベストセラー小説の翻訳本が、いよいよ日本でも本年秋、東京創元社より刊行となる。

〈特別先行プレミアイトショー決定!〉ゲスト・トーク付!!

9/1 (sat) 8:40より トークの後上映 ■当日券のみ¥1500均一 ※前売券はご使用頂けません
(10:50終了予定) 協力:アイリッシュ・パブ "THE TEMPLE BAR"

9月15日(初)より Late Roadshow! (9/28 ⑤送) 連日 8:50より (10:40終了)

■特別鑑賞券¥1300絶賛発売中! ■劇場窓口のみポストカード付き!(限定) (当日/一般¥1500・大学¥1400)

guest: 武部好伸氏(エッセイスト)、
ミルクマン斉藤氏(groovisions)

梅田ロフトB1 ☎06-6359-1080

テアトル梅田

http://www.cinemabox.com/